

石狩教育局

平成29年度専門高校Progressiveプロジェクト推進事業実施計画書

1 学校名、校長名、所在地、電話番号、ファクシミリ番号

学校名	北海道札幌東商業高等学校	校長名	別 所 正 一
所在地	札幌市厚別区厚別中央3条5丁目6番10号	電話番号	011-891-2311
		ファクシミリ番号	011-891-2390

2 学年・学科別生徒数、学級数（平成29年4月10日現在）

	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		計	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
流通経済科	80	2	78	2	79	2			237	6
国際経済科	80	2	79	2	79	2			238	6
会計ビジネス科	80	2	78	2	80	2			238	6
情報処理科	80	2	80	2	78	2			238	6
計	320	8	316	8	317	8			951	24

3 教職員数

校長	副校長・教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	講師	事務職員	実習助手	計
1	2	0	61	2	7	6	5	84

4 研究の概要等

(1) 研究のテーマ

商業の各分野の学習を通して習得した知識や技術を、国際経済科で学んだ外国語と体系的横断的に関連付け、北海道の観光産業の発展に寄与する人材を育成するとともに、グローバルな視点を持ち、国際社会で活躍できる人材を育成する。

(2) 研究の目的

ア 地域の魅力を発見し、情報発信できる能力を身に付ける

外国人観光客の増加など国際化が進んでいる北海道の観光資源に目を向け、地域の魅力を発見し、地域の良さを自らの言葉で外国人観光客に情報発信できる能力を育成する。

イ 主体的に問題解決を図る力を身に付ける

地域の観光関連産業等との連携を図り、デュアルシステムやインターンシップ等の実施により、地域振興の即戦力となる人材を育成する。

ウ 地域社会の発展を担う人材の育成を図る

北海道の経済社会を担う次世代のスペシャリストの育成に繋がるキャリア教育の充実を図る。

5 実践研究の実施計画（長期計画）

研 究	インターンシップ、デュアルシステムの実施
第一年次 (平成27年度)	<ul style="list-style-type: none">○ インターンシップ<ul style="list-style-type: none">9月 インターシップの実施（事業所数69社）<ul style="list-style-type: none">・国際経済科生徒限定の事業を開拓し、外国人観光客を対象とした接客、販売体験を実施3月 学習成果発表会の実施<ul style="list-style-type: none">・国際経済1、2年生を対象に、代表生徒がインターシップの学習成果について発表○ デュアルシステム<ul style="list-style-type: none">11月 デュアルシステム提携候補企業担当者との情報交換
	高大連携、スピーチコンテストへの参加
	<ul style="list-style-type: none">○ 高大連携<ul style="list-style-type: none">11月 高大連携について大学担当者と情報交換○ スピーチコンテスト<ul style="list-style-type: none">10月 平成27年度北海道高等学校産業教育意見・体験発表会に出場（2名出場）10月 平成27年度全商英語スピーチコンテスト北海道予選会に出場（4名出場）<ul style="list-style-type: none">・レシテーションの部 佳良賞受賞・スピーチの部 第3位入賞11月 第17回北海道韓国語弁論大会に出場（1名出場）<ul style="list-style-type: none">・銅賞受賞12月 第12回北海道地区 高校生中国語発表会に出場（11名出場）<ul style="list-style-type: none">・入門の部 優良賞受賞

	<p>3月 学習成果発表会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際経済科1、2年生を対象に「中韓ビジネス」履修生徒の代表者、意見体験発表会出場者、全商英語スピーチコンテスト出場者、北海道韓国語弁論大会出場者、高校生中国語スピーチ大会出場者が発表
	販売実習、学校独自検定の実施
	<p>○ 販売実習</p> <p>1月 次年度の販売実習に向けた情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年オータムフェスト参加を検討 ・商品開発提携企業の店舗における販売実習を検討
	学校設定科目の教材開発
	<p>○ 学校設定科目</p> <p>2月 中韓ビジネスⅠ・Ⅱ（韓国語）の授業においてスピーチコンテストを実施</p> <p>○ 教材開発</p> <p>通年 適宜開発中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月中に本校ウェブページに公開
	講演会の実施
	<p>3月 国際交流員・留学生との交流授業（異文化理解）の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌国際プラザ国際交流員3名と留学生を招き、講演及びコミュニケーションプログラムを実施
	国際経済科生徒の実態調査
	<p>1月 3年生を対象に実施</p> <p>2月 1、2年生を対象に実施</p>
	職業能力に関する調査と分析
	2月 本校卒業生を対象として実施
	運営指導委員会の開催
	3月 第1回目の運営指導委員会を開催
研究 第二年次 (平成28年度)	学校内外における大学教授・外部講師による指導
	<p>4月 「人はなぜ旅にでるのか2016（観光ビジネス論）」を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生課題研究調査研究グループ（うち国経科16名）が観光の定義及び観光について講義を聴講 <p>9月 「ホスピタリティ原論」を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際経済科1～3年生がサービスの原点である「ホスピタリティ」の基本的な考え方や具体的な事例に関して聴講 <p>9月 「北海道経済とアジア経済のリレーションシップ」を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際経済科1～2年生が北海道地域経済、アジア経済についての講義を聴講 <p>9月 「観光関連産業における体験学習」実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際経済科2年生が札幌観光ブライダル・製菓専門学校において「エアライン学科」及び「ホテル学科」に所属する講師及び在校生による講話及び実習の一部を体験するとともに、百貨店人事担当者による講話を聴講

<p>3月 国際交流員・留学生との交流授業（異文化理解）の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌国際プラザ国際交流員3名と留学生及び大学講師等を招き、講演及びコミュニケーションプログラムを実施
<p>国際経済科の実態調査</p>
<p>12月 3年生を対象に実施</p>
<p>インターシップの実施</p>
<p>9月 インターシップの実施（事業所数68社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際経済科限定事業所は9社（うち新規事業所5社） ・外国人観光客を対象とした販売や接客の体験可能な事業所を開拓
<p>スピーチコンテスト参加</p>
<p>8月 平成28年度電話対応コンクール（テープ審査）出場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道の高校生として初めて出場（国際経済科2年生1名） ・設定された場面にに基づき、電話対応をしながら、営業マインドも試されるコンクールで電話対応サービスの技術と品質を競い合った。 <p>8月 第13回日本の次世代リーダー養成塾参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際経済科2年生1名が2週間の日程で各界を代表する講師陣による講義を受講、受講後にディスカッション、プロジェクト型企画やフィールドトリップを実施 <p>8月 2016年度北海道青少年中国派遣事業参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際経済科3年生1名が本校生徒として初めての参加 <p>10月 平成28年度北海道高等学校産業教育意見・体験発表大会出場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際経済科2年生1名が出場 <p>10月 第33回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト北海道予選大会出場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際経済科2年生1名が出場 ・スピーチの部 第3位入賞 <p>11月 第18回北海道韓国語弁論大会出場 国際経済科2年生1名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銅賞受賞
<p>高大連携（具体的な連携先大学との調整）</p>
<p>12月 北海商科大学と高大連携協定調印</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学の教育資源を有効活用し、専門科目の専門性の深化や双方向コミュニケーション授業の充実等を目指し調印 <p>12月 「留学生との交流授業（異文化理解）」実施（2年生41名）</p>
<p>デュアルシステムの実施</p>
<p>6月 株式会社東急百貨店札幌店 株式会社もりもと2社から内諾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生を対象に募集したものの希望者はなし <p>2月 ホテルモントレ株式会社から内諾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生2名 4月実施予定
<p>販売実習（観光案内含む）、学習成果発表会</p>
<p>9月 「さっぽろオータムフェスト2016～チャレンジオータム2016～」参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際経済科1年生3名、2年生1名が参加 ・自校販売ブースにおいて中国語による接客、販売

	<p>9月 「第8回商業教育フェア」参加 国際経済科1年生3名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国語、ハングルによる接客、販売 <p>10月 「あつべつ食の文化祭2016」チラシ作成（翻訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際経済科2年生2名（英語・中国語）と3年生2名（韓国語）が文化祭の日本語チラシを3ヶ国語に翻訳 <p>2月 本校の課題研究調査3グループと沖縄県立浦添商業高等学校2グループによる発表及び交流</p>
<p>研 究 第三年次 (平成29年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講演（観光について・外国語について） ・インターンシップ実施 ・スピーチコンテスト参加 ・高大連携の実施（新規大学） ・デュアルシステムの実施（新規事業所） ・販売実習（観光案内・イベント紹介等） ・研究成果のまとめ
<p>【当初事業計画から大きく変更した点及びその理由】 特になし</p>	

6 平成29年度の年間活動計画

月	活 動 内 容
4	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における大学教授による指導（大学教授 3年生課題研究 観光分野研究生徒） ・「中韓ビジネス」の使用教材を本校ウェブページ上で公開 ・インターンシップ先事業所の新規開拓 ・デュアルシステム提携先事業所選定 ・外部講師による講演【日中の経済関係について】（2年生） ・ホスピタリティをテーマとした講演の実施
8	<ul style="list-style-type: none"> ・観光関連産業における体験学習（2年生）
9	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ実施 ・インターンシップ先事業所に対するアンケートの実施 ・オータムフェスト参加 ・意見体験発表会参加 ・全商英語スピーチ大会出場
10	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語弁論大会出場 ・学校周辺事業所や旅行代理店等との共同事業。【パンフレット、リーフレット、POP等の作成】
11	<ul style="list-style-type: none"> ・中国語スピーチ大会出場
12	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高校生中国語スピーチ発表会出場

1	・国際経済科生徒の実態調査（国際経済科3年生）
2	・職業能力に関する調査と分析
3	・沖縄の高校との観光プレゼンテーション交流
	・異文化交流事業の実施（1年生）
	・実施報告書の作成と提出
	・国際経済科生徒の実態調査（国際経済科1、2年生）
	・国際経済科学習成果発表会（国際経済科1、2年生、小中学生とその保護者、地域住民、道内国際経済科設置高校教員、運営指導委員を対象として実施）
	①中韓ビジネス履修生徒による発表
	②中国語スピーチ大会出場者による発表
	③韓国語弁論大会出場者による発表
	④全商英語スピーチ大会出場者による発表
	⑤インターンシップ参加者による発表
	⑥課題研究履修生徒による発表
	⑦ビジネス実務履修生徒による発表

7 事業の評価方法（効果の測定）

(1) インターンシップ、デュアルシステムの実施

①企業見学を通して、職業観・勤労観を育成することができたか。

→平成29年度 ・参加生徒の自己評価において「職業観や勤労観が身に付いた」と回答した生徒の割合 目標値85%以上

②外国人観光客の来店者数の多い「食」や「観光」に関わる事業所においてインターンシップを実施できたか。

→平成29年度 ・インターンシップにおいて、「食」や「観光」に関わる事業所での実施 目標値10社以上

③北海道の食や観光資源に対して理解を深め、有益な情報を発信する態度を身に付けることができたか。

→平成29年度 ・課題研究において、食や観光資源について調査研究を行うグループの割合 目標値10%以上

・生徒の自己評価において「食や観光資源について理解が深まり、情報発信することができた」と回答した生徒の割合 目標値80%以上

(2) 高大連携、スピーチコンテストへの参加

①大学や関係機関等と連携し実践的な外国語コミュニケーションのトレーニングを行うことができたか。

→平成29年度 ・大学や関係機関と連携した交流事業等の開催 目標値1回以上

②スピーチコンテストに参加したか。

→平成29年度 ・意見体験発表会におけるスピーチコンテスト参加者 目標値1名以上

・全商英語スピーチ大会の出場者 目標値2名以上

・韓国語弁論大会の出場者 目標値2名以上

・中国語スピーチ大会出場 目標値4名以上

(3) 販売実習の実施

販売実習により身に付けた知識や技能を活用し、外国人観光客を対象とした観光案内や商品の販売などを行うことができたか。

→平成29年度 ・外国人観光客を対象とした観光案内や販売実習に参加した生徒数
目標値4名以上

(4) 学校設定科目の教材開発

学校設置科目「中韓ビジネスⅠ」「中韓ビジネスⅡ」及び「中韓ビジネス応用」で使用する教材をウェブページで情報発信することができたか。

→平成29年度 ・ウェブページ更新回数 目標値年6回以上

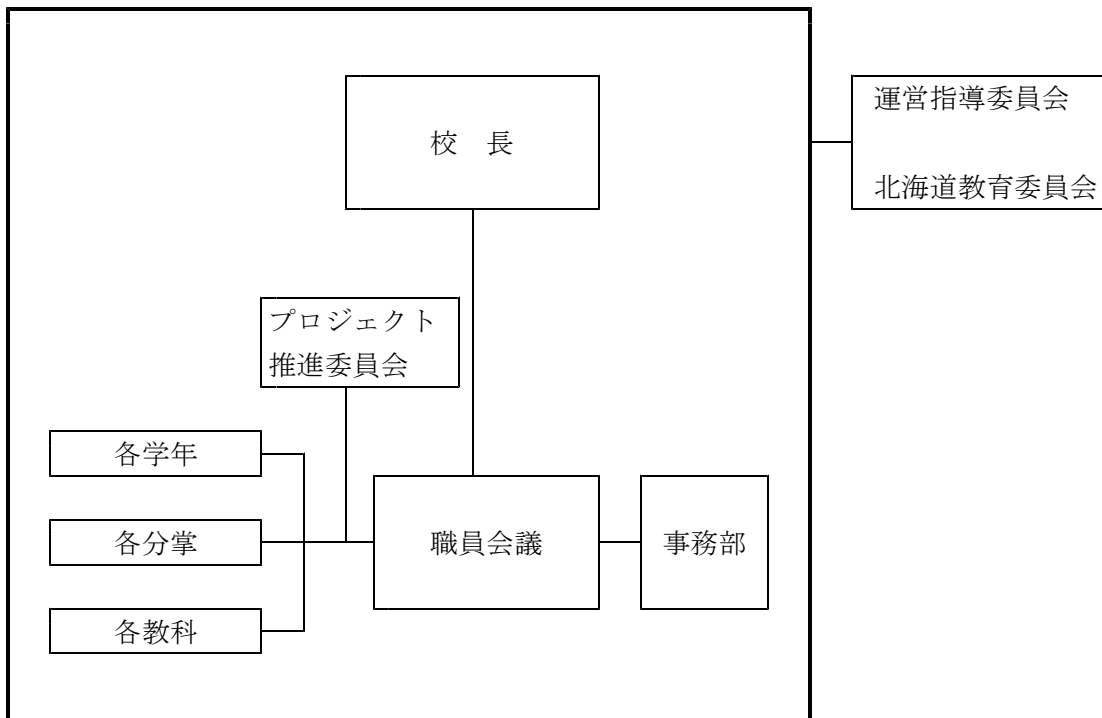
(5) 講演会の実施

社会における観光や外国語コミュニケーションの実際を学ばせるための外部専門家による講演会を計画的に実施する。

→平成29年度 ・講演会実施回数 目標値年4回以上

8 研究組織

(1) 組織の概要図（校内の組織体制）



(2) 校内研究担当者（研究主任の氏名には◎印を付すこと）

職 名	氏 名	担当学年・担当教科
副校長	澤田 信夫	商業科主任 3 学年担任・商業（中韓ビジネス、ほか） 2 学年担当・商業（中韓ビジネス、ほか） 2 学年担当・商業（経済活動と法、ほか） 2 学年担任・商業（ビジネス基礎、ほか） 1 学年担当・商業（ビジネス基礎、ほか） 1 学年担任・商業（ビジネス実務、ほか） 2 学年担当・商業（商品開発、ほか） 3 学年担任・商業（マーケティング、ほか）
教 頭	天野 慎也	
教 諭	新谷 弥	
教 諭	◎長尾 祐輔	
教 諭	森 慶介	
教 諭	竹内 和史	
教 諭	櫛引 文彦	
教 諭	森本 直樹	
教 諭	西脇 豊	
教 諭	秋本 直人	
教 諭	谷口 正樹	

(3) 運営指導委員会

①組織（委員長、副委員長の氏名にはそれぞれ◎、○印を付すこと）

氏 名	所 属	職 名	備考(専門分野等)
◎池 田 浩	近畿日本ツーリスト北海道	代表取締役社長	
○渡 邊 聡	北海学園	北東アジア研究交流センター	
藤 野 量 久	さっぽろ東急百貨店	庶務部部长	
高 瀬 奈津子	札幌大学	教授	
池 田 隆	北海道教育庁学校教育局	主査	
佐 藤 公 敏	北海道立教育研究所	研究研修主事	

②活動計画（運営指導委員会の開催予定を記載すること）

月	活 動 内 容
5	運営指導委員会（研究計画の説明及び指導助言）
8	全道連絡協議会
3	運営指導委員会（研究内容についての検証・評価等、次年度の計画）

9 研究のイメージ図

